



testo Saveris 2
無線データロガーシステム

取扱説明書



1. 目次

1.	目次	3
2.	システム	5
2.1	システム概要	5
3.	ファーストステップ	5
4.	オフライン設定	6
5.	ライセンス	6
5.1	testo Saveris 2 App	7
6.	無線データロガー	8
6.1	テクニカルデータ	8
6.1.1	テクニカルデータ	8
6.1.2	基本仕様	10
6.1.3	無線の技術データ	12
6.1.4	無線LANの技術仕様 ポート	12
6.1.5	認証	13
6.1.5.1	欧州連合 (EU)、欧州自由貿易連合 (EFTA) 加盟国	13
6.1.5.2	アメリカ/カナダ	18
6.1.5.3	日本	18
6.1.5.4	オーストラリア	19
6.1.5.5	中国	19
6.1.5.6	韓国	19
6.1.5.7	ロシア	19
6.1.5.8	チリ	19
6.1.5.9	シンガポール	19
6.1.5.10	ウクライナ	19
6.1.5.11	アラブ首長国連邦	19
6.1.6	認証 (2016)	20
6.2	安全性と環境に関するご注意	23
6.2.1	安全に関する一般的な注意事項	23
6.2.2	心臓ペースメーカー使用者を対象とした安全上の注意事項	23
6.2.3	バッテリーについて	23
6.2.4	環境保護について	23
6.3	壁掛けホルダー	24
6.4	表示部と操作部	26
6.4.1	概要	26

6.4.2	ディスプレイのシンボル	26
6.4.3	LED表示 - 設定	27
6.4.4	LED表示 - 動作	27
7.	ユーザーインターフェース	28
8.	ダッシュボード	28
8.1	測定点	28
8.2	アラーム一覧	29
9.	分析 & レポート	29
9.1	データ分析	29
9.2	自動レポート	29
10.	アラーム	30
10.1	アラーム一覧	30
10.2	アラーム設定	31
10.3	アラーム設定	31
11.	設定	32
11.1	ユーザー	32
11.2	ユーザーの役割	33
11.3	アカウントID	34
11.4	測定点グループ	34
11.5	エリア	34
11.6	無線データロガー	35
11.7	ファームウェアアップデート	35
12.	ユーザー管理	36
12.1	ユーザー設定	36
12.2	アカウント情報	36
12.3	パスワードの変更	36
12.4	ログオフ	36
13.	タスクバー	36
13.1	クイックスタートガイドを開く	36
13.2	オンラインヘルプを開く	36
13.3	システムレポートを開く	37
14.	システム情報とステータス情報	37
14.1	システムのステータス表示	37
15.	トラブルシューティング	37
16.	変更履歴	43

2. システム

2.1 システム概要

無線データロガーシステム testo Saveris 2 は、倉庫や作業スペースの温湿度をモニタリングするための、最新型ソリューションです。

システムは無線データロガーとクラウドデータベースで構成。testo Saveris 2 無線データロガーは、指定した間隔で温湿度を正確に計測。そのデータはそのまま無線LANでTesto クラウドに送られます。インターネットに対応したスマートフォンやタブレット端末、PC などから、クラウドに保存されたデータを時間や場所を問わずにチェックすることが可能。限界値を超えると、EメールまたはSMS (オプション) でただちにお知らせします。

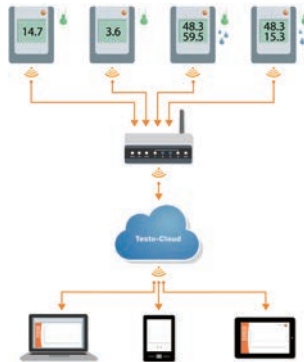
本体同様、Testo クラウドで無線データロガーのプログラミングや評価・分析も行えます。

無線データロガーで測定データを収集

無線LANルータ (本製品には含まれません)

testo クラウドに測定値を保存

PC、スマートフォン、タブレット端末等の端末機器で測定データにアクセス




3. ファーストステップ

1. 梱包からデータロガーを取り出します。
2. 壁掛けホルダーからデータロガーを外します。(7.3 を参照)
3. 本体裏面にあるねじを軽く緩めて、バッテリーカバーを外します。
4. バッテリーケースから絶縁テープを引き抜きます。
データロガーが作動します。
5. 本体裏面のねじを締め直します。

testo Saveris 2 を初めて使用する際の手順をサポートするため、クイックスタートガイドをご用意しています。

ライセンスデータの入力や無線データロガーのログインを行う際に、クイックスタートガイドが役に立ちます。その他の操作に関しても、簡単な案内が記載されています。

- ・ **クイックスタートガイド**を開くには、タスクバーの  をクリックしてください。

4. オフライン設定

構成ファイルの作成は、クイックスタートガイドからXML 構成ファイルのダウンロードを利用して、PDF 形式のファイルで無線データロガーを設定することも可能です。

注意事項

PDF ファイルの実行には Adobe Reader (バージョン 10 以上)が必要です。Adobe Reader は以下のリンクから無料でダウンロードすることができます：
<http://get.adobe.com/reader/>

1. 無線データロガーを PC に接続します。
2. 外付けドライブ SAVERIS 2 にある [WifiConf.pdf] ファイルを開きます。
3. アカウント ID をコピーして、PDF ファイルの所定のフィールドにペーストします。アカウント ID は Saveris 2 ソフトウェアの [設定] -> [アカウント ID] で確認できます。
4. ネットワーク名 (SSID)、無線 LAN のパスワードを PDF ファイルの所定のフィールドに入力します。
5. [Save configuration] ボタンをクリックします。
データエクスポートのダイアログフィールドが現れます。
6. 保存先を外付けドライブの SAVERIS 2 に指定し、データ (構成ファイル WiFiConf_Daten.xml) を保存します。
7. PC から USB コネクターを抜き、ロガーの設定を終了します。

注意事項

構成ファイルはコンピュータに保存することもできます。
以降の無線データロガーはXML 構成ファイルを外付けドライブ(Saveris 2)にコピーするだけで設定が完了します。

5. ライセンス

Saveris 2 システムをご購入いただくと、クラウドライセンスパックは無料でお使いいただけます。


画面ではSaveris 2 システムで使用可能な殆どの測定機能が表示されますが、有効にはなっていません。ライセンスを拡張して有効にすることで、これらの機能を使用できるようになります。

現在お使いのライセンスは、ヘッダー部分に表示されています。

ライセンスの取得

ヘッダーに表示されたライセンスをクリックすると、ライセンスショップにリダイレクトされます。そちらで追加のライセンスを購入することができます。

または

非アクティブの測定機能の隣にあるシンボル  をクリックし、ライセンスを拡張するためのライセンスショップにアクセスできます。

5.1 testo Saveris 2 App

初回運転、ネットワーク分析、Saveris 2 プッシュメッセージの受信に役立つ機能を備えた、無料の testo Saveris 2 App です。

testo Saveris 2 App でできること

初回運転

無線 LAN ネットワークの認識・選択には、構成アシスタントを使います。ユーザーフレンドリーな仕様で、簡単かつスピーディにロガーを接続できます。

プッシュメッセージ受信者：

アラームを通知する送信先のアドレス。プッシュメッセージ受信者のチェックボックスに、チェックを入れます。

プッシュメッセージを受信するには、お使いの 안드로이드 端末もしくは IOS 端末への testo Saveris 2 App (無料) のインストールが必要となります。

Saveris 2 App からのロガー¹起動は、操作ボタンを短く押して (2秒)「5分間ホットスポットモード」をオンにしてください。WPA2 エンタープライズを装備したロガー²は、ボタンを短く2回押してホットスポットモードに切り替えてください。この機能は、ロガー納品後の工場出荷時状態でのみ動作します。設定を行ったロガーを工場出荷時の状態に戻したい場合は、Web Frontendの登録を削除するか、操作ボタンを長押し (30秒以上) してください。初回起動時にうっかり操作ボタンを押してしまった時は、バッテリーを取り出してから入れなおすことで、ホットスポットモードがキャンセルされます。

注意

▶ testo Saveris 2 App を使ってロガーを設定すると、先に設定してあるアクセスポイントはスマートフォンへと変更されます。設定完了後は、変更されたアクセスポイントを手作業で修正する必要がある場合があります。

ネットワーク分析

ご使用の無線 LAN ネットワークを事前に分析し、testo Saveris 2 Logger が正常に動作する条件をチェックします。

その他に、ステータスログの作成と送信オプションが使用できます。

▶ IOS システム制限上の理由により、初回運転ロガーおよびネットワーク分析は 안드로이드 以外の機器で実行することができませんので、ご注意ください。

¹対象となる製品番号： 0572 2001、0572 2002、0572 2003、0572 2004、0572 2005

²対象となる製品番号： 0572 2031、0572 2032、0572 2033、0572 2034、0572 2035

アラーム

testo App では、すべての Saveris 2 プッシュアラーム を受信し、その一覧を受け取ることができます。

接続には testo App をインストールしたタブレット端末、またはスマートフォンが必要です。

App のインストールは、iOS 端末では AppStore、Android 端末では PlayStore で行ってください。

互換性

iOS 8.3 以上 / Android 4.3 以上が条件です。



スマートフォンの電源が入っていない場合、またはプロバイダーのサービスが使用できない時は、プッシュアラームが再送されません。

6. 無線データロガー

6.1 テクニカルデータ

6.1.1 デバイスデータ

無線データロガー	T1	T2	T3	H1	H2
注文番号	0572 2001	0572 2002	0572 2003	0572 2004	0572 2005
センサタイプ	1×NTC (内部)	2×NTC もしくはドアスイッチ (外部)	2×熱電対 (TC) タイプ K/J/T (外部)	1×NTC / 湿度 (内部)	1×NTC / 湿度 (外部)
測定範囲	-30～+50℃	-50～+150℃	K: -195～+1350℃ J: -100～+750℃ T: -200～+400℃	-30～+50℃ 0～100%RH ³	プローブにより異なる
精度 ±1 digit	±0.5℃	±0.5℃	±(0.5℃+0.5%: 測定値)	±0.5℃ ±2%RH (温度25℃、 2～98%RH)	プローブにより異なる
分解能	0.1℃	0.1℃	0.1℃ (-200～ +999.9℃) 1℃ (その他の範囲)	0.1℃ 0.1%RH	0.1℃ 0.1%RH

³ 結露なし。高湿度下で長時間使用する場合 (30℃以下80%RH以上で12時間以上、30℃以上60%RH以上で12時間以上) は、当社 (www.testo-international.com) までお問い合わせください。

無線データロガー	T1	T2	T3	H1	H2
注文番号	0572 2031	0572 2032	0572 2033	0572 2034	0572 2035
センサタイプ	1×NTC(内部)	2×NTC もしくはドラス イッチ(外部)	2×熱電対(TC) タイプ K/J/T(外 部)	1×NTC/ 湿度(内部)	1×NTC/ 湿度(外部)
測定範囲	-30~+50℃	-50~+150℃	K: -195~+1350℃ J: -100~+750℃ T: -200~+400℃	-30~+50℃ 0~100%RH ¹	プローブによ り異なる
精度±1 digit	±0.5℃	±0.5℃	±(0.5℃+0.5%: 測 定値)	±0.5℃ ±2%RH (温度25℃、 2~98%RH)	プローブによ り異なる
分解能	0.1℃	0.1℃	0.1℃	0.1℃ 0.1%RH	プローブによ り異なる

Saveris 2 無線データロガーは、基本的に工場での校正実施証明書を付けて出荷されます。ただし、多くの用途では12ヶ月ごとにロガーの再校正を行うことを推奨しています。校正作業は testo Industrial Services (TIS)、もしくは承認を受けた事業者が提供する便利なサービスソフトウェアを使って行うことができます。詳しい内容については、testoまでお問い合わせください。

¹ 結露なし。高湿度下で長時間使用する場合(30℃以下80%RH以上で12時間以上、30℃以上60%RH以上で12時間以上)は、当社(www.testo-international.com)までお問い合わせください。

6.1.2 基本仕様

無線データロガー	T1	T2	T3	H1	H2
注文番号	0572 2001	0572 2002	0572 2003	0572 2004	0572 2005
使用温度	-30～+50℃				
保管温度(バッテリー除く)	-40～+60℃				
保護等級	IP 65	IP 65	IP 54	IP 30	IP 54
測定サイクル	1分 ⁴ ～24時間(デフォルトは15分)				
通信サイクル	1分～24時間(デフォルトは15分)				
メモリ	測定値10,000件/チャンネル				
バッテリー寿命	12ヶ月 ⁵ +25℃で測定サイクルが15分、日中の通信サイクルが30分(1日8時間) で夜間の通信サイクル ⁶ が120分(1日16時間)の場合 -30℃で測定サイクルが15分、日中の通信サイクルが30分(1日8時間) で夜間の通信サイクルが120分(1日16時間)、 Energizer 製バッテリー 0515 0572 を使用の場合				
電源	アルカリマンガン電池 単3形 × 4本 その他の電源として、 温度が-10℃以下の場所では Energizer 製バッテリー 0515 0572を使用				
寸法	95 × 75 × 30.5 mm				
重量(バッテリー含む)	240 g				
EN12830 適合	○	○	×	×	×
ドアスイッチ	×	オプション	×	×	×
壁掛けホルダー	同梱品				

⁴購入したライセンスにより異なります⁵この値は標準値であり、実際値は無線LANの構築状況によって異なります⁶省エネモード

無線データロガー	T1	T2	T3	H1	H2
注文番号	0572 2031	0572 2032	0572 2033	0572 2034	0572 2035
使用温度	-30～+50℃				
保管温度(バッテリー除く)	-40～+60℃				
保管温度(付属のバッテリー使用時)	-10～+50℃				
保管温度(Energizer製リチウムイオンバッテリー使用時)	-40～+60℃				
保護等級	IP 65	IP 65	IP 54	IP 30	IP 54
測定サイクル	1分 ⁷ ～24時間(デフォルトは15分)				
通信サイクル	1分～24時間(デフォルトは15分)				
メモリ	測定値10,000件/チャンネル				
バッテリー寿命	12ヶ月 ⁸ +25℃で測定サイクルが15分、日中の通信サイクルが30分(1日8時間)で夜間の通信サイクル ⁹ が120分(1日16時間)の場合 -30℃で測定サイクルが15分、日中の通信サイクルが30分(1日8時間)で夜間の通信サイクルが120分(1日16時間)、Energizer 製バッテリー 0515 0572 を使用の場合				
電源	アルカリマンガン電池 単3形 × 4本 その他の電源として、 温度が-10℃以下の場所では Energizer 製バッテリー 0515 0572を使用				
寸法	95 × 75 × 30.5 mm	95 × 75 × 30.5 mm	95 × 75 × 30.5 mm	115 × 82 × 31.5 mm	95 × 75 × 30.5 mm
重量(バッテリー含む)	240 g				
EN 12830 適合	○	○	×	×	×
ドアスイッチ	×	オプション	×	×	×
壁掛けホルダー	同梱品				

⁷ 購入したライセンスにより異なります

⁸ この値は標準値であり、実際値は無線LANの構築状況によって異なります

⁹ 省エネモード

注意事項

EN 12830 の適合には毎年の点検と EN 13486 に準じた校正の実施が求められますのでご注意ください。詳しい内容については、当社までお問い合わせください。

6.1.3 無線の技術データ

無線データロガー	T1	T2	T3	H1	H2
注文番号	0572 2001	0572 2002	0572 2003	0572 2004	0572 2005
無線周波数	2.4 GHz (IEEE 802.11 b/g/n)				
標準的な暗号化方式	WEP、WPA (TKIP)、WPA2 (TKIP、AES、CCMP)				

無線データロガー	T1	T2	T3	H1	H2
注文番号	0572 2031	0572 2032	0572 2033	0572 2034	0572 2035
無線周波数	2.4 GHz (IEEE 802.11 b/g/n/x)				
標準的な暗号化方式	WEP、WPA (TKIP)、WPA2 (TKIP、AES、CCMP)				
WPA2エンタープライズ	EAP-TLS、EAP-TTLS-TLS、EAP-TTLS-MSCHAPv2、EAP-TTLS-PSK、EAP-PEAP0-TLS、EAP-PAP0-MSCHAPv2、EAP-PEAP0-PSK、EAP-PEAP1-TLS、EAP-PEAP1-MSCHAPv2、EAP-PEAP1-PSK				

6.1.4 無線LANの技術仕様 ポート

testo Saveris 2 無線データロガーはTCP 1883ポート¹⁰または8833ポート¹¹を使用する MQTTプロトコルを採用しています。

その他、次のUDPを必要とします：

- ・ポート番号53 (DNS 名前解決)
- ・ポート番号123 (NTP 時刻同期)

すべてのポートはクラウド方向にのみ通信可能です。双方向のポート転送は不要です。

Ping

DHCPまたは手動でプローブに通信したデフォルトゲートウェイは、必ず無線データロガーのPingに回答しなくてはなりません。

注意事項

最初の設定でDHCPまたは静的IPアドレスを使用するかどうかを選択できます（操作はエキスパートモード対応）。

testo Saveris 2の使用

testo Saveris 2は通常のブラウザ (www) でアクセスできます。

アクセスには標準TCPポートの http (80番) および https (443番) を使用します。

¹⁰ 対象となる製品番号：0572 2001、0572 2002、0572 2003、0572 2004、0572 2005

¹¹ 対象となる製品番号：0572 2031、0572 2032、0572 2033、0572 2034、0572 2035

6.1.5 認証

各国固有の製品認証に関する情報をご確認ください。

6.1.5.1 欧州連合 (EU)、欧州自由貿易連合 (EFTA) 加盟国

T1 (0572 2001):

**EG-Konformitätserklärung****EC declaration of conformity**

Für die nachfolgend bezeichneten Produkte:

We confirm that the following products:

testo Saveris 2 – T1

Best. Nr.: / Order No.: 0572 2001

wird bestätigt, daß sie den wesentlichen Schutzanforderungen entsprechen, die in der Richtlinie des Rates zur Angleichung der Rechtsvorschriften der Mitgliedstaaten über die **elektromagnetische Verträglichkeit** (2014/30/EU) festgelegt sind.

corresponds with the main protection requirements which are fixed in the EEC "Council Directive 2014/30 EU on the approximation of the laws of the member states relating to electromagnetic compatibility". The declaration applies to all samples of the above mentioned product.

Zur Beurteilung der Erzeugnisse hinsichtlich elektromagnetischer Verträglichkeit wurden folgende Normen herangezogen:

For assessment of the product following standards have been called upon:

Standards:

ETSI EN 300 328 V1.8.1: 2012
ETSI EN 301 489-01 V1.9.2: 2011
ETSI EN 301 489-17 V2.2.1: 2012

Diese Erklärung wird für:

This declaration is given in responsibility for:

Testo AG
Postfach / P.O. Box 1140
79849 Lenzkirch / Germany
www.testo.com

abgegeben durch / by:

Dr. Jörk Hebenstreit
(Name / name)

Uwe Haury
(Name / name)

Managing Director
(Stellung im Betrieb des Herstellers)
(Position in the company of the manufacturer)

Head of Electrical Engineering
(Stellung im Betrieb des Herstellers)
(Position in the company of the manufacturer)

Lenzkirch, 01.10.2014
(Ort, Datum / place, date)



Der Hersteller betreibt ein zertifiziertes Qualitätssicherungssystem nach DIN ISO 9001

The manufacturer operates a certified quality assurance system according to DIN ISO 9001

(Rechtsgültige Unterschrift)
(Legally valid signature)

(Rechtsgültige Unterschrift)
(Legally valid signature)

T2 (0572 2002):



Wir messen es.

**EG-Konformitätserklärung****EC declaration of conformity**

Für die nachfolgend bezeichneten Produkte:

We confirm that the following products:

testo Saveris 2 – T2

Best. Nr.: / Order No.: 0572 2002

wird bestätigt, daß sie den wesentlichen Schutzanforderungen entsprechen, die in der Richtlinie des Rates zur Angleichung der Rechtsvorschriften der Mitgliedstaaten über die **elektromagnetische Verträglichkeit** (2014/30/EU) festgelegt sind.

corresponds with the main protection requirements which are fixed in the EEC "Council Directive 2014/30 EU on the approximation of the laws of the member states relating to electromagnetic compatibility". The declaration applies to all samples of the above mentioned product.

Zur Beurteilung der Erzeugnisse hinsichtlich elektromagnetischer Verträglichkeit wurden folgende Normen herangezogen:

For assessment of the product following standards have been called upon:

Standards:

ETSI EN 300 328 V1.8.1: 2012
ETSI EN 301 489-01 V1.9.2: 2011
ETSI EN 301 489-17 V2.2.1: 2012

Diese Erklärung wird für:

This declaration is given in responsibility for:

Testo AG
Postfach / P.O. Box 1140
79849 Lenzkirch / Germany
www.testo.com

abgegeben durch / by:

Dr. Jörk Hebenstreit
(Name / name)

Uwe Haury
(Name / name)

Managing Director
(Stellung im Betrieb des Herstellers)
(Position in the company of the manufacturer)

Head of Electrical Engineering
(Stellung im Betrieb des Herstellers)
(Position in the company of the manufacturer)

Lenzkirch, 02.10.2014
(Ort, Datum / place, date)

(Rechtsgültige Unterschrift)
(Legally valid signature)

(Rechtsgültige Unterschrift)
(Legally valid signature)



Der Hersteller betreibt ein zertifiziertes Qualitätssicherungssystem nach DIN ISO 9001

The manufacturer operates a certified quality assurance system according to DIN ISO 9001

T3 (0572 2003):



Wir messen es.

**EG-Konformitätserklärung****EC declaration of conformity**

Für die nachfolgend bezeichneten Produkte:

We confirm that the following products:

testo Saveris 2 – T3

Best. Nr.: / Order No.: 0572 2003

wird bestätigt, daß sie den wesentlichen Schutzanforderungen entsprechen, die in der Richtlinie des Rates zur Angleichung der Rechtsvorschriften der Mitgliedstaaten über die **elektromagnetische Verträglichkeit** (2014/30/EU) festgelegt sind.

corresponds with the main protection requirements which are fixed in the EEC "Council Directive 2014/30 EU on the approximation of the laws of the member states relating to electromagnetic compatibility". The declaration applies to all samples of the above mentioned product.

Zur Beurteilung der Erzeugnisse hinsichtlich elektromagnetischer Verträglichkeit wurden folgende Normen herangezogen:

For assessment of the product following standards have been called upon:

Standards:

ETSI EN 300 328 V1.8.1: 2012
ETSI EN 301 489-01 V1.9.2: 2011
ETSI EN 301 489-17 V2.2.1: 2012

Diese Erklärung wird für:

This declaration is given in responsibility for:

Testo AG
Postfach / P.O. Box 1140
79849 Lenzkirch / Germany
www.testo.com

abgegeben durch / by:

Dr. Jörk Hebenstreit

(Name / name)

Uwe Haury

(Name / name)

Managing Director(Stellung im Betrieb des Herstellers)
(Position in the company of the manufacturer)**Head of Electrical Engineering**(Stellung im Betrieb des Herstellers)
(Position in the company of the manufacturer)**Lenzkirch 02.10.2014**

(Ort, Datum / place, date)

(Rechtsgültige Unterschrift)
(Legally valid signature)

(Rechtsgültige Unterschrift)
(Legally valid signature)



Der Hersteller betreibt ein zertifiziertes Qualitätssicherungssystem nach DIN ISO 9001

The manufacturer operates a certified quality assurance system according to DIN ISO 9001

H1 (0572 2004):



Wir messen es.

**EG-Konformitätserklärung****EC declaration of conformity**

Für die nachfolgend bezeichneten Produkte:

We confirm that the following products:

testo Saveris 2 – H1

Best. Nr.: / Order No.: 0572 2004

wird bestätigt, daß sie den wesentlichen Schutzanforderungen entsprechen, die in der Richtlinie des Rates zur Angleichung der Rechtsvorschriften der Mitgliedstaaten über die **elektromagnetische Verträglichkeit** (2014/30/EU) festgelegt sind.

corresponds with the main protection requirements which are fixed in the EEC "Council Directive 2014/30 EU on the approximation of the laws of the member states relating to electromagnetic compatibility". The declaration applies to all samples of the above mentioned product.

Zur Beurteilung der Erzeugnisse hinsichtlich elektromagnetischer Verträglichkeit wurden folgende Normen herangezogen:

For assessment of the product following standards have been called upon:

Standards:

ETSI EN 300 328 V1.8.1: 2012
ETSI EN 301 489-01 V1.9.2: 2011
ETSI EN 301 489-17 V2.2.1: 2012

Diese Erklärung wird für:

This declaration is given in responsibility for:

Testo AG
Postfach / P.O. Box 1140
79849 Lenzkirch / Germany
www.testo.com

abgegeben durch / by:

Dr. Jörk Hebenstreit

(Name / name)

Uwe Haury

(Name / name)

Managing Director(Stellung im Betrieb des Herstellers)
(Position in the company of the manufacturer)**Head of Electrical Engineering**(Stellung im Betrieb des Herstellers)
(Position in the company of the manufacturer)**Lenzkirch 01.10.2014**

(Ort, Datum / place, date)

(Rechtsgültige Unterschrift)
(Legally valid signature)

(Rechtsgültige Unterschrift)
(Legally valid signature)



Der Hersteller betreibt ein zertifiziertes Qualitätssicherungssystem nach DIN ISO 9001

The manufacturer operates a certified quality assurance system according to DIN ISO 9001

H2 (0572 2005):



Wir messen es.

**EG-Konformitätserklärung****EC declaration of conformity**

Für die nachfolgend bezeichneten Produkte:

We confirm that the following products:

testo Saveris 2 – H2

Best. Nr.: / Order No.: 0572 2005

wird bestätigt, daß sie den wesentlichen Schutzanforderungen entsprechen, die in der Richtlinie des Rates zur Angleichung der Rechtsvorschriften der Mitgliedstaaten über die **elektromagnetische Verträglichkeit** (2014/30/EU) festgelegt sind.

corresponds with the main protection requirements which are fixed in the EEC "Council Directive 2014/30 EU on the approximation of the laws of the member states relating to electromagnetic compatibility" The declaration applies to all samples of the above mentioned product.

Zur Beurteilung der Erzeugnisse hinsichtlich elektromagnetischer Verträglichkeit wurden folgende Normen herangezogen:

For assessment of the product following standards have been called upon:

Standards:

ETSI EN 300 328 V1.8.1: 2012
ETSI EN 301 489-01 V1.9.2: 2011
ETSI EN 301 489-17 V2.2.1: 2012

Diese Erklärung wird für:

This declaration is given in responsibility for:

Testo AG
Postfach / P.O. Box 1140
79849 Lenzkirch / Germany
www.testo.com

abgegeben durch / by:

Dr. Jörk Hebenstreit
(Name / name)

Uwe Haury
(Name / name)

Managing Director
(Stellung im Betrieb des Herstellers)
(Position in the company of the manufacturer)

Head of Electrical Engineering
(Stellung im Betrieb des Herstellers)
(Position in the company of the manufacturer)

Lenzkirch, 02.10.2014
(Ort, Datum / place, date)

J. Hebenstreit
(Rechtsgültige Unterschrift)
(Legally valid signature)

U. Haury
(Rechtsgültige Unterschrift)
(Legally valid signature)



Der Hersteller betreibt ein zertifiziertes Qualitätssicherungssystem nach DIN ISO 9001

The manufacturer operates a certified quality assurance system according to DIN ISO 9001

6.1.5.2 アメリカ/カナダ

本機は FCC規格 Part 15C および IC RSS-210(第8版)に適合しています。
使用にあたっては、次のいずれの条件も満たす必要があります:

- (1) 本機が有害な干渉源とならないこと
- (2) 予期せぬ動作につながるものも含め、あらゆる干渉を受信すること。

アメリカ

Contains FCC ID: N8NLSD4WF0459

T1 FCC ID: 2ACVD-05722031

T2 FCC ID: 2ACVD-05722032

T3 FCC ID: 2ACVD-05722033

H1 FCC ID: 2ACVD-05722034

H2 FCC ID: 2ACVD-05722035

T1 FCC ID: WAF-0572203X

T2 FCC ID: WAF-0572203X

T3 FCC ID: WAF-0572203X

H1 FCC ID: WAF-05722034

H2 FCC ID: WAF-0572203X

カナダ

Contains IC: 21461-LSD4WF0459

T1 IC: 12231A-05722031

T2 IC: 12231A-05722032

T3 IC: 12231A-05722033

H1 IC: 12231A-05722034

H2 IC: 12231A-05722035

T1 IC: 6127B-0572203X


T2 IC: 6127B-0572203X


T3 IC: 6127B-0572203X

H1 IC: 6127B-05722034


H2 IC: 6127B-0572203X


6.1.5.3 日本

T1 (0572 2001):  R 204-440017

T2 (0572 2002):  R 204-440018

T3 (0572 2003):  R 204-440019

H1 (0572 2004):  R 204-440020

H2(0572 2005):  204-440021

6.1.5.4 オーストラリア



6.1.5.5 中国

T1(0572 2001): CMIIT ID: 2014DP5734
 T2(0572 2002): CMIIT ID: 2014DP5735
 T3(0572 2003): CMIIT ID: 2014DP5736
 H1(0572 2004): CMIIT ID: 2014DP5732
 H2(0572 2005): CMIIT ID: 2014DP5733

6.1.5.6 韓国



デバイスモデル	Saveris 2 T1	Saveris 2 T2	Saveris 2 T3	Saveris 2 H1	Saveris 2 H2
識別番号	MSIP-CRM-Toi-Saveris2T1	MSIP-CRM-Toi-Saveris2T2	MSIP-CRM-Toi-Saveris2T3	MSIP-CRM-Toi-Saveris2H1	MSIP-CRM-Toi-Saveris2H2
申請者	Testo Instruments (Shenzhen) Co., Ltd.				
製造者	Testo Instruments (Shenzhen) Co., Ltd.				
製造国	中国				
注意事項	해당 무선설비가 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없음				

6.1.5.7 ロシア
 認証済。

6.1.5.8 チリ
 認証済。

6.1.5.9 シンガポール
 認証済。

6.1.5.10 ウクライナ
 認証済。

6.1.5.11 アラブ首長国連邦
 認証済。



6.1.6 認証 (2016)

Approval and Certification

製品名	Saveris 2 T1 (2016) Saveris 2 T2 (2016) Saveris 2 T3 (2016) Saveris 2 H1 (2016) Saveris 2 H2 (2016)
製品型番	0572 2031 0572 2032 0572 2033 0572 2034 0572 2035
日付	04.05.2017

i 無線モジュールの使用は、使用する国の法律・既定の対象となり、使用が許可されている国のみで使用可能です。計測器の使用者または所有者には、これらの規則と使用上の必要条件を厳守する義務があり、特に無線使用許可のない国においての再販、輸出、輸入などについては、全ての責任を負います。

国	内容
Canada	Contains IC: 21461-LSD4WF0459 T1, T2, T3, H2: IC: 6127B-0572203X H1: IC: 6127B-05722034 IC Warnings
Europa + EFTA	  The EU Declaration of Conformity can be found on the testo homepage www.testo.com under the product specific downloads. EU countries: Belgium (BE)、Bulgaria (BG)、Denmark (DK)、Germany (DE)、Estonia (EE)、Finland (FI)、France (FR)、Greece (GR)、Ireland (IE)、Italy (IT)、Latvia (LV)、Lithuania (LT)、Luxembourg (LU)、Malta (MT)、Netherlands (NL)、Austria (AT)、Poland (PL)、Portugal (PT)、Romania (RO)、Sweden (SE)、Slovakia (SK)、Slovenia (SI)、Spain (ES)、Czech Republic (CZ)、Hungary (HU)、United Kingdom (GB)、Republic of Cyprus (CY). EFTA countries: Iceland、Liechtenstein、Norway、Switzerland

Japan	 R 211-160704 Japan Information															
South Korea	 T1: MSIP-CRM-te2-05722031 T2: MSIP-CRM-te2-05722032 T3: MSIP-CRM-te2-05722033 H1: MSIP-CRM-te2-05722034 H2: MSIP-CRM-te2-05722035 KCC Warning															
USA	Contains FCC ID: N8NLS4WF0459 T1, T2, T3, H2: FCC ID: WAF-0572203X H1: FCC ID: WAF-05722034 FCC Warnings															
Wi-Fi-Module	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Feature</th> <th>Values</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WLAN Range</td> <td>100 m</td> </tr> <tr> <td>WLAN type</td> <td>LSD4WF0459-01D0</td> </tr> <tr> <td>WLAN radio class</td> <td>Accord with the standard of IEEE 802.11b/g/n</td> </tr> <tr> <td>Company</td> <td>Lierda Technology Group co., LTD</td> </tr> <tr> <td>RF Band</td> <td>2412-2472MHz</td> </tr> <tr> <td>Transmitter Power</td> <td>13.42dBm</td> </tr> </tbody> </table>	Feature	Values	WLAN Range	100 m	WLAN type	LSD4WF0459-01D0	WLAN radio class	Accord with the standard of IEEE 802.11b/g/n	Company	Lierda Technology Group co., LTD	RF Band	2412-2472MHz	Transmitter Power	13.42dBm	
Feature	Values															
WLAN Range	100 m															
WLAN type	LSD4WF0459-01D0															
WLAN radio class	Accord with the standard of IEEE 802.11b/g/n															
Company	Lierda Technology Group co., LTD															
RF Band	2412-2472MHz															
Transmitter Power	13.42dBm															
EN 12830	Acc. to EN 12830 -S, T, A, C, D, 1 -25...+25°C															

IC Warnings

This instrument complies with Part 15C of the FCC Rules and Industry Canada RSS-210 (revision 8). Commissioning is subject to the following two conditions:

- (1) This instrument must not cause any harmful interference and
- (2) this instrument must be able to cope with interference, even if this has undesirable effects on operation.

Cet appareil satisfait à la partie 15C des directives FCC et au standard Industrie Canada RSS-210 (révision 8). Sa mise en service est soumise aux deux conditions suivantes:

- (1) cet appareil ne doit causer aucune interférence dangereuse et
- (2) cet appareil doit supporter toute interférence, y compris des interférences qui provoquerait des opérations indésirables.

FCC Warnings

Information from the FCC (Federal Communications Commission)

For your own safety

Shielded cables should be used for a composite interface. This is to ensure continued protection against radio frequency interference.

FCC warning statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class C digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Caution

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. Shielded interface cable must be used in order to comply with the emission limits.

Warning

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

日本国内について

本機器は、電波法に基づく、技術基準適合証明等を受けた特定無線設備を装着しています。

KCC Warning

해당 무선 설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음.

6.2 安全性と環境に関するご注意

6.2.1 安全に関する一般的な注意事項

- ・ 本機は用途や規定を守ってご使用ください。また、技術仕様が定める数値の範囲内でお使いください。装置に無理な力を加えないでください。
- ・ 装置に損傷が見つかった場合は、使用を中止してください。
- ・ Saveris 2 用に設定されたアクセサリおよびプローブ以外は、使用しないでください。
- ・ 測定対象や測定現場によっては危険を伴う場合があります。使用する場所の安全規則を必ず守って測定を行ってください。
- ・ センサー/プローブの温度表示は、あくまでセンサーの測定範囲内での使用に限られます。高温に対応できる旨が明記されている場合を除き、ハンドルとケーブルを 70℃ 以上の場所におかないでください。
- ・ 絶縁していない通電部品に接触させる測定は避けてください。
- ・ 本機を溶剤と一緒に保管しないでください。乾燥剤は使用できません。
- ・ 取扱説明書に記載されていないメンテナンスや修理を、本機に行わないでください。また、作業の際には定められた手順を必ず守ってください。Testo純正品以外の部品は使用できません。

6.2.2 心臓ペースメーカー使用者を対象とした安全上の注意事項

- ・ 壁掛けホルダーの磁気プレートの取り扱いには充分注意するとともに、安全な場所に保管するようにしてください。
- ・ ペースメーカーと壁掛けホルダーの磁気プレートの距離を、常に 20cm 以上空けてください。

6.2.3 バッテリーについて

- ・ バッテリーの取り扱いを誤ると壊れる恐れがあるほか、感電による怪我や火災、液体薬品の漏えいにつながる危険があります。
- ・ 同梱のバッテリーは取扱説明書の指示に必ず従って使用してください。
- ・ バッテリーをショートさせることはお止めください。
- ・ バッテリーを分解したり、改造しないでください。
- ・ バッテリーに強い衝撃を与えること、水や火の中に入れること、温度が60℃以上になる場所に置くことはお止め下さい。
- ・ 金属の近くにバッテリーを保管しないでください。
- ・ バッテリー液が体に付着した場合は、液が触れた箇所を水で丁寧に洗ったのち、医師の診察を受けてください。
- ・ 密閉されていない、または破損したバッテリーは使用できません。

6.2.4 環境保護について

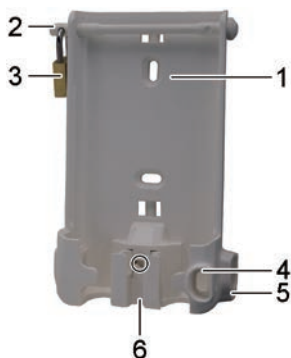
- ・ 故障したバッテリーや使用済みのバッテリーは、所管自治体の廃棄方法に関する定めに従って処分してください。
- ・ 本機を廃棄する際は、所管自治体の電子部品あるいは電子製品の廃棄方法に関する定めに従って処分してください。

6.3 壁掛けホルダー

注意事項

データロガーは必ず縦に取り付けてください。取り付けの際は、接続部が下向きになるようにします。ディスプレイを装備したデータロガーは、読み取る方向に注意してください。これを守らないと、正確な測定結果が得られなくなる可能性があります。

壁掛けホルダーで無線データロガーを固定することができます。固定具は同梱品には含まれていません。ご希望の取り付け方法に合わせて、固定具をお選びください。



(対象製品: 0527 2001、0527 2002、0527 2003、0527 2004、0527 2005、0527 2031、0527 2032、0527 2033、0527 2035)

1. 固定具用のスロット付き壁掛けホルダー (ねじまたはケーブルタイ)
2. 固定ピン
3. ロック
4. USBコネクタ用収納キャップ
5. プローブコネクタ用収納キャップ (左 / 右)
6. USBケーブルホルダー (折りたたみ式: スクリュードライバーで十字マークの箇所を押し、ケーブルホルダーを下にずらします)



(対象製品: 0572 2034)

1. 壁掛けホルダー
2. データロガー
3. ロック解除ツール
4. 磁気プレート (別売り可。注文番号: 0554 2001)

- ・ ロック解除ツールを解除用のスロットに入れます。
- ・ データロガーを壁掛けホルダーから上に引き抜きます。

6.4 表示部と操作部

6.4.1 概要



1. ディスプレイ
2. アラームLED (アラーム時は赤で点滅)
3. Testoクラウドのデータに直接アクセスするためのQRコード
4. 手動データ送信用の操作ボタン
5. バッテリーケース (裏側)
6. USB、プローブコネクタ (下部: 装置ごとに異なります)

6.4.2 ディスプレイのシンボル

シンボル	内容
	バッテリー残量 75% ~ 100%
	バッテリー残量 50% ~ 74%
	バッテリー残量 25% ~ 49%
	バッテリー残量 5% ~ 24% (バッテリー残量5%以下でシンボルが点滅)
	外部電源 (USBコネクタ)
	無線LANの電波強度 100%
	無線LANの電波強度 75%
	無線LANの電波強度 50%
	無線LANの電波強度 25%
	Testoクラウドにデータ接続中 (シンボル点滅: Testoクラウドへのデータ接続確立中)
	アラームメッセージ
1	測定チャンネル 1

2	測定チャンネル 2
↑	アラームのステータス: 上限値超過
↓	アラームのステータス: 下限値超過

6.4.3 LED表示 - 設定

LED表示	内容
オンラインデータロガーが30秒おきに短く(200ミリ秒) 緑色に点滅。	オンラインデータロガーがスタンバイモードになっており、設定の保存がまだ完了していない。
オンラインデータロガーのLEDが秒単位で緑色に点滅。	オンラインデータロガーが設定モードになっており、作動後5分間は設定操作が可能。
オンラインデータロガーの設定後、3回長めに赤く点滅。	SSID/アカウントIDエラー。
オンラインデータロガーが1回長め(1秒)に赤く点滅。	5分以内にオンラインデータロガーの設定が行われなかった。
オンラインデータロガーの設定後、2回長めに赤く点滅。	オンラインデータロガーがアクセスポイントに接続されていない。
オンラインデータロガーが2回短く緑色に点滅。	設定が正常に完了。オンラインデータロガーがクラウドに接続され、測定モードに切替済み。

6.4.4 LED表示 - 動作

LED表示	内容
設定が済んだオンラインデータロガーが、2回短く赤色に点滅。	オンラインデータロガーとアクセスポイントの接続が確立しておらず、測定データがクラウドに送信できない。
オンラインデータロガーが1回長めに緑色に点滅。	オンラインデータロガーが測定を実行。
オンラインデータロガーが1回長めに赤く点滅。	オンラインデータロガーがアラームを検知。
オンラインデータロガーが2回短く緑色に点滅。	測定データをクラウドに送信完了。ロガーは測定サイクルに復帰。
オンラインデータロガーが4回長めに赤く点滅。	ロガー前面のボタンを短く(1秒以下)押す。ロガーが再び赤く4回点滅した場合は、バッテリーの消耗。バッテリーを交換する。
オンラインデータロガーが赤/緑に交互に点滅。	ファームウェアアップデートの実行処理中。

7. ユーザーインターフェイス

The screenshot displays the testo Saveris 2 user interface. At the top, there is a navigation bar with the system name 'testo Saveris 2' and a status indicator. Below this is a main menu with options for 'ダッシュボード' (Dashboard), '分析 & レポート' (Analysis & Reports), 'アラーム' (Alarms), and '設定' (Settings). The main content area is divided into two sections: '測定点' (Measurement Points) and '作動中のアラーム' (Active Alarms). The '測定点' section contains a table with columns for status, measurement point ID, group, current values, and scheduled date. The '作動中のアラーム' section shows a detailed alarm message for H2_45800848, indicating a temperature alarm at 24.9°C.

1. システム情報とステータス情報
2. タスクバー
3. ユーザー管理
4. メニューバー内のメインメニュー：
 - ・ダッシュボード
 - ・分析 & レポート
 - ・アラーム
 - ・設定
5. 表示範囲

8. ダッシュボード

ダッシュボードがスタート画面になります。**測定点、アラーム一覧**、といった主要なシステムデータの概要が表示されます。

8.1 測定点

すべての測定点に関する概要を表示します。
詳しい内容を見たい時は、▶をクリックしてください。

8.2 アラーム一覧

作中のすべてのアラームおよびシステム警告を、一覧表示します。未読のアラーム、システム警告は**太字**で表されます。

詳しい内容を見たい時は、▶をクリックしてください。

詳細表示を開くとアラーム/システム警告に「既読」マークが付き、アラームカウンターの数が減ります。

9. 分析 & レポート

9.1 データ分析

測定値とアラームの表示および分析

表示は次の項目ごとにフィルタリングできます。

- ・ 測定点グループ/無線データロガー：測定点グループ/測定点の名前をクリックします。
- ・ 日付/時刻：開始日/終了日をクリックし、開始日/開始時刻および終了日/終了時刻を選択します。
- ・ 時間サイクル：例えば終了時間など必要な時間サイクルをクリックします。

測定値は表や図で表示することができます。

- ・ 表または図のボタンをクリックし、表示を選択してください。
- ・ グラフデータ表示では、その他の分析機能があります。詳しくはオンラインヘルプを参照ください。

アラームは表で表示することができます。

- ・ アラームをクリックし、アラームを表示させます。
- ・ アイコン▶をクリックすると、さらに詳細を見ることができます。

測定値とアラームのエクスポート（マニュアルでレポート作成）

1. レポートに表示したい測定点と測定期間を選択します。
2. エクスポートボタンをクリックし、ファイル形式（PDFまたはCSV）を選択してください。
3. レポート作成に必要なデータを入力し、出力およびダウンロードのボタンをクリックします。

自動レポート作成

ユーザー設定によって、定期的に自動レポートを自動で作成することができます。

1. 自動レポート作成ボタンをクリックします。
2. レポート作成に必要なデータを入力し、自動レポート作成のボタンをクリックします。

9.2 自動レポート

ユーザーの設定に応じて（レポート設定）、システムが定期的に自動レポートを作成します（作成したレポート）。

自動レポートの作成

1. [自動レポートの作成] ボタンをクリックします。
2. 自動レポートの作成に必要なデータを入力します。

選択・編集可能な設定は以下のとおりです。

- ・ レポート名：自動レポートの名前。
- ・ レポートに使用する測定点：レポートに入れる測定点。チャンネル名のチェックボックスをクリックしてください。
- ・ レポートの作成間隔を選んでください：レポートを作成するサイクル。レポートの作成サイクルをドロップダウンリストで選択します。
- ・ ファイル形式：作成するレポートのファイル形式。ファイル形式をドロップダウンリストで選択します。
- ・ データビュー：レポートに表示するデータのデータビュー。データビューの名前のチェックボックスをクリックしてください。
- ・ Eメールでもレポートを送信：レポートは保存以外に、作成したレポートでEメール送信できます。チェックボックスをクリックすると、Eメールアドレスの入力画面が開きます。

3. [自動レポートの作成] ボタンをクリックします。

次の日に最初のレポートが作成されます。

作成したレポート

既に作成したレポートの主な情報を表示します。

詳しい内容を見たい時は、▶をクリックしてください。

- ・ レポートをダウンロードするには、[ダウンロード] ボタンをクリックします。
- ・ [この一連のレポートを編集] ボタンをクリックし、設定の表示と編集を行います。

レポートの設定

作成した自動レポートを表にします。

- ・ [アクション] ボタンの次に[編集]をクリックし、設定の作成と編集を行います。
- ・ [アクション] ボタンの次に[消去]をクリックし、自動レポートを削除します。

10.

アラーム

10.1

アラーム一覧

アラームの表示

発生したすべてのアラームおよびシステム警告を、一覧表示します。未読のアラーム、システム警告は**太字**で表されます。

また、表示は次の項目ごとにフィルタリングできます。

- ・ 測定点グループ / 測定点ごと：測定点グループ / 測定点のチェックボックスにチェックを入れます。
- ・ 日付 / 時間ごと：開始日 / 終了日をクリックし、開始日 / 開始時間および終了日 / 終了時間を選択します。

アラームの詳細情報

詳しい内容を見たい時は、▶をクリックしてください。

詳細表示を開くとアラーム/システム警告に「既読」マークが付き、アラームカウンターの数が減ります。

すべて既読にする、をクリックすると、すべてのアラームメッセージに「既読」マークが付きます。

10.2

アラーム設定

アラーム設定の作成と表示

- ・ + アラームの新規設定ボタンをクリックし、アラーム設定を新規作成します。既に存在するアラーム設定はボタンの下に表示されます。
- ・ アラーム設定を表示するには、設定名をクリックしてください。

表示したアラーム設定の選択と編集

選択・編集可能な設定は以下のとおりです。

- ・ 名前: アラーム設定の名称 (入力必須項目)。
- ・ 測定点: 監視する測定グループ / 測定点。測定点グループ / 測定点のチェックボックスにチェックを入れます。
- ・ アラーム限界値 1 & 2: 複数の期間それぞれに別の限界値を設定できます。
- ・ 上限、下限: 監視対象となる値の範囲です。
- ・ アラーム遅延: アラームが発動するまでの、限界値違反の最低経過時間。

▶ 測定 (測定サイクル) の時間間隔は、必ずアラーム遅延より少なくしてください (例: 測定サイクル = 5分、アラーム遅延 = 15分)。

- ・ 時間の管理: アラーム限界値1と2それぞれのアラーム期間、もしくはアラーム限界値無しの設定ができます。表の時間をダブルクリックするか、希望の期間をマウスでドラッグすると、アラーム限界値1と2を指定できます。何も操作していない表の時間は、アラームが作動しません。

▶ アラームの期間を指定しないと、アラーム限界値はその日の24時間有効になります。

アラームの期間を指定した場合は、その時間だけ限界値のアラームがオンになります。

- ・ チャンネルのアラーム: 不具合のあるセンサーをお知らせします。
- ・ Eメール受信者: アラームを通知する送信先のアドレス。受信者のチェックボックスにチェックを入れるか、その他の受信者名とEメールアドレスを入力して [+ 追加] ボタンをクリックします。
- ・ SMS受信者: アラームを通知する送信先のアドレス。受信者のチェックボックスにチェックを入れるか、その他の受信者名と携帯電話番号を入力して [+ 追加] ボタンをクリックします。
- ・ 保存: 設定内容を保存するには、このボタンをクリックしてください。
- ・ 消去: アラーム設定を消去するには、このボタンをクリックしてください。

10.3

システムに関する警告

システムに関する警告の作成と表示

- ・ [+ システムに関する警告の新規設定] ボタンをクリックし、システムに関する警告の設定を新規作成します。
- 既に存在するシステムに関する警告の設定は、ボタンの下に表示されます。
- ・ システムに関する警告を表示するには、警告名をクリックしてください。

表示したシステムに関する警告の選択と編集

選択・編集可能な設定は以下のとおりです。

- ・ 名前: システムに関する警告の設定の名称 (入力必須項目)。
- ・ バッテリー残量少: 無線データロガーのバッテリー切れを監視します。
- ・ 電源供給中断: 無線データロガーの外部電源の中断を監視します。
- ・ 無線データロガーの応答なし: 無線データロガーのデータ送信エラーを監視します。アクティベートボタンを押して、スクロールバーで監視サイクルを設定します。

注意事項

設定時間は必ず無線データロガーの通信サイクルより長くしてください。

- ・ 無線データロガー: 監視する測定グループ / 測定点。測定点グループ / 測定点のチェックボックスにチェックを入れます。
- ・ Eメール受信者: アラームを通知する送信先のアドレス。受信者のチェックボックスにチェックを入れるか、その他の受信者名とEメールアドレスを入力して [+ 追加] ボタンをクリックします。
- ・ SMS受信者: アラームを通知する送信先のアドレス。受信者のチェックボックスにチェックを入れるか、その他の受信者名と携帯電話番号を入力して [+ 追加] ボタンをクリックします。
- ・ 保存: 設定内容を保存するには、このボタンをクリックしてください。
- ・ 消去: システムに関する警告を消去するには、このボタンをクリックしてください。

11. 設定

11.1 ユーザー

ユーザーの割り当てと管理ができます。

標準ユーザー

基本的に、システムには2種類のユーザーが割り当てられます。

- ・ アカウント所有者 (名前の変更可)。ユーザーの役割: 管理者 (役割の変更はできません)。
- ・ Testoサポート (名前の変更可)。ユーザーの役割: Testoユーザーサポート (役割の変更はできません)。

ユーザーの新規追加と編集

その他のユーザーは各種 ユーザーの役割に割り当てたり、編集することが可能です。

- ・ [新規ユーザーを追加] ボタンをクリックして、ユーザーを新たに追加できます。

既存のユーザーはリストに表示されます。

- ・ ユーザーの設定を表示するには、ユーザー名をクリックします。
- ・ 設定内容を変更するには、[編集] ボタンをクリックしてください。

選択・編集可能な設定は以下のとおりです。

- ・ 名前: ユーザーの名前。
- ・ 名: ユーザーの下の名前 (入力必須項目)。
- ・ ミドルネーム: ユーザーのミドルネーム。
- ・ 姓: ユーザーの名字 (入力必須項目)。
- ・ パスワードおよびパスワードの再入力: ユーザーパスワード。ユーザーパスワードは、ユーザー本人で後から変更することができます。
- ・ ユーザーの役割: システムにおけるユーザーの権限を指定します。
- ・ Eメールアドレス&ログイン: ユーザーのEメールアドレス。Eメールアドレスがログイン名になります。このEメールアドレスはシステムからのメッセージ (アラーム、システムに関する警告) に使用されます。
- ・ Eメールアドレス&ログインの変更 (アカウント所有者のユーザーアカウント編集時のみ使用可能なフィールド): 新しいEメールアドレスを入力してください。他のEメールアドレスが入力されると、ログイン名も変更されます。
- ・ 携帯電話番号: システムからのメッセージ (アラームとシステムに関する警告) を送る、ユーザーの電話番号。
- ・ 有効期限開始日: ユーザーとして有効になる最初の日付。
- ・ 有効期限終了日: ユーザーとして有効期間を終える日付。
- ・ 詳細: ユーザーに関する情報を入力するためのテキストフィールド。
- ・ 保存: 設定内容を保存するには、このボタンをクリックしてください。

11.2 ユーザーの役割

使用可能なユーザーの役割に関する説明を表示します。

- ・ 詳しい内容を見たい時は、各ユーザーの役割をクリックしてください。

ユーザーは、割り当てられた役割によって権限が異なります。

権限	管理者	アナリスト	監査人	オペレータ
割り当てられたユーザーの表示	✓	✓	✓	✓
ユーザーの割り当て、編集、削除	✓	-	-	-
アカウントIDの表示	✓	-	-	✓
無線データロガーのログイン	✓	-	-	✓
無線データロガーの設定と無効化	✓	-	-	✓
エリアの割り当て、編集、削除	✓	-	-	✓
アラーム設定とシステム警告の表示、割り当て、編集、削除	✓	-	-	✓
測定値の読み取りと分析	✓	✓	✓	✓
アラームとシステム警告の詳細表示 (=アラームとシステム警告に既読マークが付きます)	✓	✓	✓	✓
自動レポートの作成	✓	-	-	✓

✓ = 権限あり、- = 権限なし

11.3 アカウントID

アカウントIDは、Testoクラウドで使用する個別のユーザーアカウントです。データを正しいユーザーアカウントに送信するためにも、このアカウントIDは無線データロガーの設定に欠かせません。

11.4 測定点グループ

測定点グループごとに分けて管理できます。

測定点グループ（ルーム1、ルーム2・・・等）で分けると、複数の測定点を管理しやすくなります。

下項の11.5 エリア、を参照ください。



測定点グループの作成と編集

- ・ [+測定点グループの新規設定] ボタンをクリックし、新たな測定点グループを作成します。

既存の測定点グループはリストに表示されます。

- ・ [アクション] ボタンの次に [編集] をクリックし、設定の作成と編集を行います。

選択・編集可能な設定は以下のとおりです。

- ・ 名前: 測定点グループの名称 (入力必須項目)。
- ・ 内容: 測定点グループの内容
- ・ エリア: 測定点グループに割り当てるエリア。
- ・ 測定点: 使用可能な測定点とグループに割り当てられている測定点を表示します。測定点をグループに入れるには、 をクリックします。測定点をグループから外すには、 をクリックします。
- ・ 保存: 設定内容を保存するには、このボタンをクリックしてください。
- ・ 消去: 測定点グループを消去するには、このボタンをクリックしてください。

測定点グループの消去

- ・ [アクション] ボタンの次に [消去] をクリックし、設定の作成と編集を行います。

11.5 エリア

測定点グループをエリアで管理できます。

上項の11.4 測定点グループ、を参照ください。

エリアの作成と編集

- ・ [+エリアの新規設定] ボタンをクリックし、新たなエリアを作成します。

既存のエリアはリストに表示されます。

- ・ [アクション] ボタンの次に [編集] をクリックし、設定の作成と編集を行います。

選択・編集可能な設定は以下のとおりです。

- ・ デ스플레이名: エリアの名前 (入力必須項目)。
- ・ 内容: エリアの内容
- ・ 保存: 設定内容を保存するには、このボタンをクリックしてください。

- ・ 消去: エリアを消去するには、このボタンをクリックしてください。
- エリアの消去
- ・ [アクション] ボタンの次に [消去] をクリックし、エリアを削除します。

11.6 無線データロガー

ログイン中のすべての無線データロガーに関する主な情報を表示します。

- ・ 詳しい内容を見るには、[詳細] ボタンをクリックします。
- ・ 無線データロガーのオン/オフの切り替えは、[無効にする] または [有効にする] ボタンをクリックします。

無線データロガーの設定

- ・ 設定内容を変更するには、[編集] ボタンをクリックしてください。

選択・編集可能な設定は以下のとおりです。

- ・ 無線データロガー名: 無線データロガーの名前 (入力必須項目)。工場出荷時の状態: モデル_シリアルナンバー
- ・ 内容: 無線データロガーの内容。
- ・ バッテリーの種類を選択: 使用するバッテリーの種類を設定します。バッテリー残量を正確に表示するためにも、バッテリーの種類は正しく設定してください。
- ・ ディスプレイ: 無線データロガーの画面のオン/オフ。
- ・ 測定点の名前: 測定点の名称 (入力必須項目)。
- ・ 測定サイクル: 測定値を算出する時間の周期。スクロールバーで測定サイクルを指定してください。
- ・ 日中の通信サイクルと夜間の通信サイクル: Testoクラウドに送信する測定値の時間周期。日中の通信サイクル開始時間と、夜間の通信サイクル開始時間を選択します。スクロールバーで通信サイクルを指定してください。
- ・ チャンネル名: 測定チャンネルの名前 (入力必須項目)。工場出荷時の状態: モデル_シリアルナンバー_チャンネル番号
- ・ ユニットを選択: 測定値を表示する単位。
プローブタイプを選択 (T2、T3モデルのみ): 測定チャンネルに使用するプローブの種類。
- ・ 保存: 設定内容を保存するには、このボタンをクリックしてください。
- ・ 無効にする/有効にする: 測定チャンネルまたは無線データロガーのオン/オフの切り替えは、ボタンをクリックします。
- ・ 削除: 無線データロガーをシステムからログオフするには、このボタンをクリックします。


11.7 ファームウェアアップデート

無線データロガーに使用可能なファームウェアアップデートが一覧表示されます。ファームウェアアップデートは、無線でデータロガーにインストールできます。

- ・ ファームウェアアップデートのインストールは、アクティベートボタンで実行します。

12. ユーザー管理

ユーザー管理でユーザーアカウントに関する情報、ならびに設定項目を見ることができます。

- ・ ユーザーメニューを開くには、をクリックしてください。

12.1 ユーザー設定

ユーザー固有の設定を行うことができます。

- ・ 言語: 操作画面の言語を選択します。
- ・ 時間帯: 日付および時刻のタイムゾーンを選択します。
- ・ 保存: 設定内容を保存するには、このボタンをクリックしてください。

12.2 アカウント情報

ご使用の Saveris 2 アカウントに関する情報を表示しています。

12.3 パスワードの変更

ユーザーパスワードを変更できます。

新しいパスワードと新しいパスワード (再入力): 両方のフィールドに新しいパスワードを入力してください。

- ・ 保存: 設定内容を保存するには、このボタンをクリックしてください。

注意事項

ユーザー名 (E メールアドレス) の変更はできません。

12.4 ログオフ


システムからログオフします。

- ・ ログオフ: ログオフしたいテキストの上でクリックします。

13. タスクバー


13.1 クイックスタートガイドを開く

無線データローガーのログイン時には、クイックスタートガイドが役に立ちます。

- ・ クイックスタートガイドを開くには、をクリックしてください。


13.2 オンラインヘルプを開く

製品の使い方不明な点がある時は、オンラインヘルプ (本書) を活用できます。

- ・ オンラインヘルプを開くには、をクリックしてください。

13.3 システムレポートを開く

システムレポートには、製品に関する重要なお知らせが記載されています。

- ・ システムレポートを開くには、をクリックしてください。未読のシステムレポートの数はシンボルでお知らせします。


すべてのシステムレポートに関する概要を表示します。未読のシステムレポートは**太字**で表示されます。

- ・ 詳しい内容を見たい時は、システムレポートのタイトルをクリックしてください。詳細表示を開くとシステムレポートに「既読」マークが付き、レポートカウンターの数が減ります。

14. システム情報とステータス情報

14.1 システムのステータス表示

アラームのステータスを表示します。

: アラームはありません

: アラームあり。未読のアラーム数が表示されます

- ・ アラーム一覧を開くには、このアイコンをクリックしてください。

15. トラブルシューティング

無線データロガーとPCをつなぐUSBケーブルは、市販のものでも使用可能ですか？

安定したデータ送信を行うためにも、無線データロガーに付属のUSBケーブルのご使用をお勧めします。ロングタイプのUSBケーブルは電源専用です。

WPA2エンタープライズ暗号化方式を採用したネットワークと無線データロガーの接続は可能ですか？

第二世代*の Saveris 2 ロガーは、以下のWPA2エンタープライズ暗号化方式に対応しています。EAP-TLS、EAP-TTLS-TLS、EAP-TTLS-MSCHAPv2、EAP-TTLS-PSK、EAP-PEAP0-TLS、EAP-PAP0-MSCHAPv2、EAP-PEAP0-PSK、EAP-PEAP1-TLS、EAP-PEAP1-MSCHAPv2、EAP-PEAP1-PSK

WPA2エンタープライズネットワークにロガーをつなげる場合は、以下の作業を行ってください。

1. ロガーに入っているPDFファイルを開き、プログラム選択を行って使用に
2. 適したXMLファイルを作成します。
御社のWPA2エンタープライズ認証と作成したXMLファイルを、USB接続でロガーの外部メモリにドラッグ&ドロップします。
3. 認証名は正確に、拡張子も誤りがないかどうか確認してください。

ca.pem、client.pem、private.key

認証形式が PEM または BASE64 かどうかを確認してください。テキストエディタで認証ファイルを開き、"-----BEGIN CERTIFICATE-----" が

記載してあるかどうかで確認ができます。この文字列が見当たらなかった場合は、IT またはユーザーがRadiusサーバから BASE64 エンコードで認証をエクスポートするか、openssl で変換します。ファイルには一つの認証しかないことが前提です。バンドルはありません。

4. 無線データロガーの設定は、必ずUSBのプラグを完全に抜いてから行ってください。

*製品番号: 0572 2031、0572 2032、0572 2033、0572 2034、0572 2035

XML構成ファイルが無線データロガーで送れません。

OSによっては、構成ファイルの名前を変更するとデータ送信に不具合が生じることがあります。デフォルトのファイル名を使用してください。

無線データロガーのアクセスが中断した場合の対処法を教えてください。

- ・ 無線データロガーの操作ボタンを押して、無線LAN接続のサーチを手動で開始してください。
- ・ 無線データロガーまたはアクセスポイント (無線LANルータ) の向きや位置を変えてみてください。

無線データロガーにエラーコード E03、E04、E05、E09 が表示された時の対処法を教えてください。

これらは無線データロガーにエラーが発生した時に現れるエラーコードです。エラーは無線データロガーのファームウェアが自動で修正します。数秒でエラーコードが消えたら、特に対処は必要ありません。

無線データロガーにエラーコード E12 が表示された時の対処法を教えてください。

構成ファイル WifiConfig.xml にエラーが発生しています。クイックスタートガイドで構成ファイルを作成しなおし、無線データロガーに保存してください。

無線データロガーにエラーコード E20 が表示された時の対処法を教えてください。

WPA2 エンタープライズ EAPの接続設定を行う際に、CA証明書が見つかりませんでした。CA証明書は必須です。

"ca.pem"の名前を付けたCA証明書を、PEM形式でXMLファイルと一緒に保存するか、ウェブコンフィギュレーションにアップロードしてください。

無線データロガーにエラーコード E21 が表示された時の対処法を教えてください。

ca.pem 認証の形式に誤りがあります。ca.pem 認証の形式が PEM または BASE64 かどうかを確認してください。テキストエディタで認証ファイルを開き、"-----BEGIN CERTIFICATE-----" が記載してあるかどうかで確認ができます。この文字列が見当たらなかった場合は、IT またはユーザーが Radiusサーバから BASE64 エンコードで認証をエクスポートするか、openssl で

変換します。ファイルには一つの認証しかないことが前提です。バンドルはありません。

無線データロガーにエラーコード E22 が表示された時の対処法を教えてください。WPA2 エンタープライズ EAP-TLS の接続設定を行う際に、ユーザー証明書が見つかりませんでした。"client.pem"の名前を付けたユーザー証明書を、PEM形式でXMLファイルと一緒に保存するか、ウェブコンフィギュレーションにアップロードしてください。

無線データロガーにエラーコード E23 が表示された時の対処法を教えてください。

client.pem ユーザー認証の形式に誤りがあります。client.pem ユーザー認証の形式が PEM または BASE64 かどうかを確認してください。テキストエディタで認証ファイルを開き、"-----BEGIN CERTIFICATE-----" が記載してあるかどうかで確認ができます。この文字列が見当たらなかった場合は、IT またはユーザーがRadiusサーバーからBASE64 エンコードで認証をエクスポートするか、openssl で変換します。ファイルには一つの認証しかないことが前提です。バンドルはありません。



2016年以前の旧世代Saveris2ロガー（銘板を確認）:

このエラーコードの原因は、多くの場合がバッテリー不足によるものです。新しいバッテリーを無線データロガーにセットしてください。

それでも不具合が解消しない時は：無線データロガーを工場出荷時の状態にリセットしてください。操作ボタンを20秒以上長押しすると、画面が消えます。

無線データロガーにエラーコード E24 が表示された時の対処法を教えてください。

WPA2 エンタープライズ EAP-TLS の接続設定を行う際に、プライベートキーが見つかりませんでした。"private.key"の名前を付けたプライベートキーを、PEM形式でXMLファイルと一緒に保存するか、ウェブコンフィギュレーションにアップロードしてください。

無線データロガーにエラーコード E25 が表示された時の対処法を教えてください。

private.key 認証の形式に誤りがあります。private.key の形式が PEM または BASE64 かどうかを確認してください。テキストエディタで認証ファイルを開き、"-----BEGIN CERTIFICATE-----" が記載してあるかどうかで確認ができます。この文字列が見当たらなかった場合は、IT またはユーザーがRadiusサーバーから BASE64 エンコードで認証をエクスポートするか、openssl で変換します。ファイルには一つの認証しかないことが前提です。バンドルはありません。

無線データロガーにエラーコード E26 が表示された時の対処法を教えてください。

このエラーコードには3つの原因が考えられます。

1. アクセスポイント（無線LANルータ）が電波の圏外になっているか、スイッチが切れている。アクセスポイントに問題がないか確認してください。必要に応じて、無線データロガーの設置場所を変えてください。
2. 無線データロガーに保存したネットワーク名（SID）に誤りがある。無線LANネットワークのネットワーク名を確認してください。クイックスタートガイドで正しいネットワーク名の構成ファイルを作成しなおし、無線データロガーに保存してください。
3. 無線LANネットワークのアクセスポイントが、以下の暗号化方式を選択していない：WEP、WPA（TKIP）、WPA2（AES、CCMP）サポートしている暗号化方式でアクセスポイントの設定を行ってください。

無線データロガーにエラーコード E32 が表示された時の対処法を教えてください。

無線データロガーにIPアドレスが割り当てられていないために生じるエラーです。このエラーコードには2つの原因が考えられます。

1. ネットワークのパスワードに誤りがある。無線LANネットワークのパスワードを確認してください。クイックスタートガイド で正しいパスワードの構成ファイルを作成しなおし、無線データロガーに保存してください。
2. アクセスポイント（無線LANルータ）にMACアドレスフィルタが設定されているか、新たなデバイスの統合を許可していない。アクセスポイントの設定をもう一度確認してください。

無線データロガーにエラーコード E35 が表示された時の対処法を教えてください。

無線データロガーのPingテストで、アクセスポイント（無線LANルータ）からの応答が得られなかった時に現れるエラーコードです。デフォルトゲートウェイへのPingに応答できているかどうか、ルータの設定を確認してください。

無線データロガーにエラーコード E36 が表示された時の対処法を教えてください。

DNSを解除できませんでした。

1. アクセスポイント（無線LANルータ）がインターネットに接続されていない。アクセスポイントのインターネット接続をもう一度確認してください。
もしくは
2. ネットワークインフラ内のルーティングが機能していない。端末装置のログインがアクセスポイントに集中していないか、確認してください。

無線データロガーにエラーコード E41 が表示された時の対処法を教えてください。

無線データロガーの現在時刻がタイムサーバー（pool.ntp.org）同期していないために現れるエラーメッセージです。

1. アクセスポイント（無線LANルータ）がインターネットに接続されていない。アクセスポイントのインターネット接続をもう一度確認してください。
2. アクセスポイント（無線LANルータ）のNTPポート（123/UDP）が開放されていない。NTPポート（123/UDP）が開いているか確認してください。

無線データロガーにエラーコード E51 が表示された時の対処法を教えてください。

無線データロガーとTestoクラウドとの接続が確立されていません。

1. これまで問題の無かった無線データロガーとTestoクラウドとの接続が、突然途切れた場合：Testoクラウドのサーバーが、一時的にアクセス不可能になっています。通常サーバーはモニタリングされ、数時間以内に復旧します。
2. 無線データロガーとTestoクラウドの接続が長時間にわたって確立しない場合：アクセスポイント（無線LANルータ）のTCPポート（1883または8883）が開放されていません。TCPポート（1883または8883）が双方向で開いているか確認してください。

無線データロガーにエラーコード E52 が表示された時の対処法を教えてください。

そのデータロガーが別のアカウントで登録されているため、クラウドへの登録ができなくなっています。まず、現在有効なアカウントでデータロガーへのログインを行ってください。

無線データロガーにエラーコード E63 が表示された時の対処法を教えてください。

無線データロガーからTestoクラウドにデータの送信ができません。

1. 送信中にインターネットの接続が切れた：アクセスポイント（無線LANルータ）の接続状態が安定しているかどうか確認してください。アクセスポイントのインターネット接続をもう一度確認してください。データは次の通信サイクルで送信されます。その他の方法：無線データロガーの操作ボタンでデータ送信を手動実行してください。
2. Testoクラウドのサーバがデータ保存のクエリ処理に失敗した：通常サーバーはモニタリングされ、数時間以内に復旧します。

無線データロガーにエラーコード E75 が表示された時の対処法を教えてください。

無線データロガーのファームウェアアップデートに失敗しました。

送信中にインターネット接続が中断したか、何らかの理由で無線データロガーが受信できませんでした。アクセスポイント（無線LANルータ）の接続状態が安定しているかどうか確認してください。アクセスポイントのインターネット接続をもう一度確認してください。データは次の通信サイクルで送信されます。その他の方法：無線データロガーの操作ボタンでデータ送信を手動実行してください。

無線データロガーに Err AccountID というメッセージが表示された時の対処法を教えてください。

構成ファイルに入っているアカウントIDに誤りがあります。

クイックスタートガイドで構成ファイルを作成しなおし、無線データロガーに保存してください。

無線データロガーに no AccountID というメッセージが表示された時の対処法を教えてください。

構成ファイルにアカウントIDがありません。

クイックスタートガイド で構成ファイルを作成しなおし、無線データロガーに保存してください。

無線データロガーに no License というメッセージが表示された時の対処法を教えてください。

ログイン可能な無線データロガーの台数を超過しているか、ご使用の testo Saveris 2 ライセンスの有効期限が切れているため、ログインができません。

使用中の他の無線データロガーをログオフしてから目的のデバイスでログインするか、testo Saveris 2 ライセンスを更新してください。

無線データロガーに not Active というメッセージが表示された時の対処法を教えてください。

無線データロガーが無効になっています。ロガーが保存と送信を行ったため、Testoクラウドに測定データがありません。

もう一度測定データの保存と送信を行うには、無線データロガーを起動してください（設定 --> 無線データロガー）。

16. 変更履歴

testo Saveris 2 クラウドの変更に関する情報:

Revision	Release date	Improvements
10351	2015-03-26	<ul style="list-style-type: none"> · Automatic reports can now be created · Vertical help lines in the PDF report were optimized · SMS alarms can now be sent in Russian, Japanese, Chinese and Turkish. · New users will with immediate effect be created as standard in the language of the account owner · Measurement values were sometimes shown in the report with two decimal places, although the data logger only allows one decimal place maximum. This has been adapted in the reports · Several design errors in the web presentation have been rectified. · Deleting an alarm setting for individual channels/measurement locations from a T3 and T2 no longer deletes both channels. · Internal errors on the web application are now presented in a uniform way. · Errors with several users with different languages have been rectified. · Only the most current Firmware version is shown per logger type, including the status · Periods of unrestricted length can now be selected in graph and reports, independently of the selected measurement rate · Settings for day/night communication rate are now checked for plausibility · An error in the representation of units in the CSV report has been rectified · The user settings for the account owner have been corrected. · The time selection in the analysis area has been improved with regard to the use of the Japanese language and the use of Internet Explorer 8 · The switchover of a T2 channel from temperature to door contact has been improved

Revision	Release date	Improvements
10351	2015-03-26	<ul style="list-style-type: none">· The texts for e-mail and SMS alarms have been revised· The stability of communication between the probes and the Cloud has been improved· The special symbols "" _ "" and spaces can now be used for naming alarms· The dew point and absolute humidity channels can be deactivated· The input of mobile phone numbers for SMS alarms is now presented more clearly· The presentation of all texts in the web presentation is now uniform· The presentation of the system warning settings "Battery almost discharged" and "Power supply interrupted" have been adapted· The presentation of the data in the data analysis and the reports have been aligned· The presentation of deregistered WiFi data loggers on the dashboard has been completed· The number of time zones has been fundamentally revised· The number of the max. available SMS alarms was stated per month, not per year. This error has been rectified· The status of the still active alarms is better presented on the dashboard· The error that in some cases the data was not fully shown in the table view, has been rectified· The error that in individual cases not all alarms were shown in the alarm list, has been rectified· The error that a WiFi data logger retained its alarm setting after being deregistered and reregistered, has been rectified· The error that a WiFi data logger sometimes still had alarm settings stored after a hardware reset, has been rectified

Revision	Release date	Improvements
10351	2015-03-26	<ul style="list-style-type: none"> · The error that the set user language was not taken into account in the setting of the communication rate, has been rectified · The error that the change of the user role was not always taken over, has been rectified · The error that during registration the previously selected country can no longer be changed after selecting the language, has been rectified · The error that the e-mail address for a deleted user can no longer be used, has been rectified · The error that licence information was sometimes displayed incorrectly in the Quick Start Guide, has been rectified · The error that for the dew point and absolute humidity channels the alarm did not function, has been rectified · The error that when measuring in °F the e-mail and SMS alarms were always shown in °C, has been rectified · The error that the measurement locations could not be removed from existing alarm settings, has been rectified · The category "User groups" has been removed · The colour design on the web presentation is now uniform · With immediate effect, the dash board displays only active alarms · Browser compatibility problems in the presentation of the dashboard have been corrected · In a CSV report, tables and alarms cannot be integrated simultaneously, although this combination was selectable in the software interface. This error has been rectified · Decimal points and commas are supported for alarm limit value input · Limit values can be entered in °F or °C in alarm settings · A maintenance page is shown when maintenance work on the Cloud is being carried out

Revision	Release date	Improvements
10351	2015-03-26	<ul style="list-style-type: none">· When changes to the selected analysis area were carried out, individual errors in the presentation occurred. This has been corrected· For months with fewer than 31 days, the full 31 days could still be selected in the time selection. This error has been rectified· Only a limited number of characters could be used for descriptions. The length of the fields has been adjusted accordingly· Suspended alarms are now identified as such· Alarm limit values outside the physical limits of the testo Saveris 2 probes can no longer be entered (e.g. 105 %RH)
10955	2015-04-07	<ul style="list-style-type: none">· The quick start guide is adapted to the new licence model· Some bugs in the graphic function are resolved· Measurement point names are shown instead of channel names above the graphic· The error that the alarm symbol shows “disabled” has been rectified



保証書

本保証書は、本記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。使用説明書、取扱上の注意事項等にしがった正常なご使用状態で万一故障した場合は、本保証書を添付の上、修理をご依頼ください。

*修理のご依頼時には、製品に本書を添付の上、不具合内容を明記して、お買上げの販売店またはサービスセンターにご送付ください。

なお、送料は送付元負担とさせていただきます。

*この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

品名	testo Saveris 2	検印
型番		
シリアル番号		
保証期間	本体：2年	

販売店(店名、電話番号、住所)

(販売日： 年 月 日)

株式会社 テストー

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル7F

- セールス TEL.045-476-2288 FAX.045-476-2277
- サービスセンター(修理・校正) TEL.045-476-2266 FAX.045-476-2277
- ヘルプデスク TEL.045-476-2547

ホームページ <http://www.testo.co.jp> e-mail info@testo.co.jp